

聴覚障害者にも情報を

弥富 震災テーマ映画上映会

耳が聞こえない名古屋市緑区の映像作家、今村彩子さん(三巴)が監督したドキュメンタリー映画「架け橋 きこえなかつた3・11」の

今村さんが東日本大震災直後から今年七月まで宮城県など被災地で行った十回の取材をまとめ、八月に完成した。

わかる情報に格差があったてはならない」というメッセージが盛り込まれている。インタビュ―は手話で行われ、字幕が付く。

上映会が、弥富市総合社会教育センターで開かれた。

耳が聞こえない被災者へのインタビューを通じて避難などに関する情報が伝わりにくいことを紹介。「命に関

上映会の後に今村さんが登壇。今村さんは手話通訳を介して「聞こえない人にも津波警報が分かれば、高齢者や視覚障害者の避難を助けられる」と指摘

上映会は同市の海南病院が主催。映画は、

「命に関

した。聴覚障害者とのコミュニケーション手段についても「手話だけでなく、身ぶりや筆談などいろいろあることを知ってほしい」と訴えた。



上映会の後、思いを語る今村さん
＝弥富市総合社会教育センターで